

「企業会計」の決算状況

病院事業

●収益的

・収入 135億3,587万円

・支出 132億9,095万円

●資本的

・収入 4億5,820万円

・支出 9億8,175万円

◇収益的収支が2年ぶりの黒字

職員が増員などに伴う人件費の増加や薬品費の増加により費用も伸びましたが、入院患者数、入院・外来診療単価の増加により収益が伸び、費用を上回る収益を確保できたことから、約2億4,492万円の黒字となりました。

水道事業

●収益的

・収入 22億5,414万円

・支出 18億9,584万円

●資本的

・収入 3,292万円

・支出 4億9,856万円

◇収益的収支が17年連続の黒字

給水戸数及び工場使用量の増加に伴う水道料金収益の増加や愛知県からの受水量の調整を図り受水費の基本料金の削減に努めたこと等により、3億5,830万円の黒字となりました。

下水道事業

●収益的

・収入 37億4,381万円

・支出 36億8,771万円

●資本的

・収入 15億2,080万円

・支出 26億3,951万円

◇収益的収支が3年連続の黒字

接続世帯の増加による使用料収入の増加、企業債償還利息の減少による費用の削減により、約5,610万円の黒字となりました。



半田市の財政を家計にたとえてみると

1か月の支出43万8千円(※)をまかなうのに、月収(市税など)や実家からの仕送り(国庫支出金、県支出金)など、46万円の収入がありました。

これからは家族の医療費(扶助費)や家の補修費用(維持補修費)の増加が見込まれるため、生活費(人件費、物件費など)を切り詰めるとともに、計画的に貯金(基金)を増やすことも考えなくてはなりません。

はんだ家1か月の家計簿

※( )は予算上の項目です。

収入		支出	
月収(給料、各種手当) (市税、地方交付税、地方譲与税ほか)	32万5千円	家族の医療費など (扶助費)	10万5千円
パートなどの副収入、資産活用、雑収入など (使用料、負担金、財産収入など)	3万1千円	ローンの返済 (公債費)	2万6千円
実家からの仕送り (国・県支出金)	8万7千円	生活費(食費、光熱費など) (人件費、物件費)	13万6千円
ローンの借入 (市債)	5千円	家の増改築、補修など (維持補修費、普通建設事業費)	5万円
先月の残り (繰越金)	1万2千円	家族への仕送り (繰出金、補助費など)	10万円
合計	46万円	貯金、その他雑費 (基金積立金など)	2万1千円
		合計	43万8千円

※日本の一世代当たりの平均所得月額46万円に、半田市の一般会計歳入歳出決算額に占める各費目の割合を乗じ、一般家庭に相当するそれぞれの額を算出しています。(参考：厚生労働省「平成30年国民生活基礎調査」)